がんセミナー「膵癌について」開催のご案内

当院では、地域の皆様を対象とした「がんセミナー」を、動画配信（YouTube）にて公開しております。

ご自宅にいながら、お好きな時間に、パソコンやスマートフォンで健康に関する動画を視聴することが可能です。今後も医療や病気の予防に関する動画を随時公開していきます。

福岡大学筑紫病院 公式YouTubeチャンネルにて配信中

第28回 がんセミナー

「膵癌について」　（約20分）

演者　外科　医師　**宮坂　義浩**

膵臓の働きとは？ 膵癌のリスクを高める原因って？
年々増加している膵癌の症状や、検査・治療方法についてわかりやすくお話ししています！

右記QRコードより
アクセスしていただくか、コチラ

筑紫病院　公式　YouTube

で、検索し、ご視聴ください。

紹介受診重点医療機関として福岡県より公表されました

当院は、令和5年8月1日に福岡県より紹介受診重点医療機関として、公表されました。紹介受診重点医療機関とは、かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関のことです。そのため紹介状がなく受診された場合は、一部負担金（3割負担等）とは別に「特別の料金」が必要となります。医療機関の役割分担により、患者さんが適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになり、待ち時間短縮や、勤務医の外来負担軽減などの効果が期待されます。

▶診療日のご案内

	循環器内科	腎臓内科	内分泌・糖尿病内科	呼吸器内科	消化器内科※1	小児科	外科	呼吸器・乳腺外科	整形外科	形成外科（午前のみ）	脳神経外科	脳神経内科	皮膚科（午後のみ）※2	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科
月	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○
火	○		○	○	○	○	○	○						○			○
水	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○	○	○
木	○		○	○	○	○	○	○						○			○
金	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○	○	○

[受付時間]
〈平日〉8：40～11：00
※1 小児科の専門外来は要予約　　※2 休診中

[休診日]
土曜日・日曜日・祝日
年末・年始（12月29日～1月3日）　お盆（8月15日）

[面会時間]
〈平日・土曜日〉13：00～20：00　〈日曜日・祝日〉11：00～20：00
※面会の状況については、当院ホームページをご確認ください。

▶交通のご案内

外来用駐車場 A：160台

JR・西鉄電車ご利用の場合
西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車……徒歩3分
JR鹿児島本線「天拝山駅」下車……徒歩3分

自家用車ご利用の場合
九州自動車道「筑紫野IC」より……車で5分
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武蔵交差点より……車で5分

※時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。
※なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。

地域医療支援病院・地域がん診療病院
福岡大学筑紫病院
Fukuoka University Chikushi Hospital
〒818-8502 福岡県筑紫野市俗明院一丁目1番1号
Tel. 092-921-1011（代） Fax. 092-928-3890
https://www.chikushi.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学筑紫病院ニュース
ちくし
2024.冬
vol.68

福岡大学筑紫病院の理念
あたたかい医療

「基本理念」

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。

その基本は「人間性に立脚した医療」、心の繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

「基本方針」

1．安全、安心な思いやりのある医療の実践
2．大学病院として、高度先進医療の提供
3．地域医療支援病院・地域がん診療病院として、情報発信とともに地域医療への貢献
4．開かれた質の高い多職種協働によるチーム医療の実践
5．患者の尊厳を尊重し、倫理観を備えた優しい心を持った医療人の育成

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

福岡大学筑紫病院　病院長
河村　彰

昨年は、長きにわたり続いたCOVID-19パンデミックから、ようやくある程度の脱却がみられ、その位置づけが、「2類相当」から「5類感染症」に変更されました。それをきっかけに、社会生活や社会通念、価値観なども大きく様変わりした一年であったと思います。しかしそのような中にあっても当院は、これまで同様、慎重に感染症対策を取りながら、来院される患者さんに安全で安心できる医療を常に提供できるよう、医療の充実を図って参りました。新興感染症への厳密な取り組みと、医療の質担保の両立は、新しい年を迎えても大命題として、変わらず取り組んで参りたいと思います。

当院は、昨年8月に福岡県より新たに「紹介受診重点医療機関」に選定されたことにより、これまで以上に、かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおき、特に入院治療（専門性の高い手術・処置や化学療法等）を必要とする患者さんを最大限、受け入れて参りました。しかし、更なる紹介患者さんを受け入れるためには、急性期医療を終了した患者さんを、速やかに地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション等へ繋ぐ役割を果たす必要があり、これにより、筑紫地区を含めた二次医療圏の医療を有機的に機能させることができると考えております。本年も関係者の方々の益々のご支援をお願いする所でございます。

また、本年6月に予定されている診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬のトリプル改定におきましては、医療機能の再構築を実践的に進めるよう厚労省から方針が出されており、当院はこれに沿って、限られた人的・物的資源を最大限活用し、特に、地域医療貢献の役割の一つである、救急医療にも積極的に貢献して参る所存であります。同時に、いよいよ本年4月より開始となる、医師の働き方改革におきましても、医療安全の確保を大前提に、医師の労働環境の改善と、医療の質や生産性向上の両立を目指して参ります。

さて、本年の干支の甲辰（きのえたつ）の年は、“物事を始める”のに最適の年と言われております。改めて当院が掲げる“あたたかい医療”の実践者として職員一同協力し、新たな第一歩を踏み出しますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。皆さま方におかれましても、今年が安寧な一年となりますよう祈念いたしまして、新年号の挨拶とさせて頂きます。

発行：2024年2月1日　福岡大学筑紫病院ニュース事務局

腎センター

私たちは地域に密着しながら様々な腎疾患の診療の提供を目指します

診療部長 安野　哲彦

ご挨拶と自己紹介

令和５年10月１日付で新設された腎センターの診療部長に就任しました安野 哲彦（やすのてつひこ）と申します。私は筑紫地区の出身で、福岡市内の高校を卒業後、平成13年に福岡大学医学部を卒業し、福岡大学病院臨床研修を経て第四内科（現、腎臓・膠原病内科）に入局しました。以来、20年以上にわたり福岡大学病院と関連病院で腎臓内科医として研鑽を積みました。令和２年からは福岡大学医学部腎臓・膠原病内科の升谷耕介教授の御推挙により福岡大学の准教授、令和５年４月から血液浄化療法センター長を拝命していました。

日常の臨床業務の傍ら、平成22年に1年間、京都大学iPS細胞研究所にて遺伝性疾患の腎臓の再生に関する研究、平成29年から長崎県壱岐市での慢性腎臓病の疫学研究、令和２年から腸内細菌の研究を継続しています。現在は、口腔内の細菌叢と腎疾患の関係性、在宅血液透析や腹膜透析などの在宅医療に興味があります。

慣れない環境でのスタートでしたが、多くの方々にサポートして頂き大変感謝しています。

▲腎センタースタッフ　前列　左２番目から安野哲彦、盛田なつみ（医師）

腎センター設立までの経緯と診療体制

これまで筑紫病院では、８年前から血液透析が行われてきました。令和５年４月１日からは３名の非常勤医のみで週１回の外来と透析を中心に準備を行い、令和５年10月１日に腎センターを設立しました。現在、２名の腎臓内科医（安野 哲彦、盛田 なつみ）が常時勤務し、１名の非常勤医師（重本 佳奈）と連携しながら、腎疾患を治療しています。

腎疾患患者は年々増加しており、約1300万人が慢性腎臓病（ＣＫＤ）に該当します。

慢性腎臓病は糖尿病、高血圧症などの生活習慣病、高齢化が発症因子であり、一層の増加が危惧されています。慢性腎臓病は腎不全のみならず、脳血管障害、心疾患、認知症を高率に発症することが知られています。筑紫地区および周辺地域の人口増加に伴い、私たちが必要とされる頻度が高くなるものと考えられます。

これまで筑紫地区および周辺の地域では、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、全身性の疾患が関与する腎疾患など、１施設で検査から治療まで完結できない状況でした。腎生検が必要な腎疾患の検査と治療に関しては、福岡市や筑後地区まで受診されていたのが現状でした。私も福岡大学病院において、筑紫地区から通院されている多くの患者さんの診療をしてきました。これからは、急性と慢性の腎臓病や透析の導入を含めた腎代替療法の治療など、当腎センターは腎臓内科領域の治療を幅広く積極的に行います。慢性腎臓病、ネフローゼ症候群などで状態が安定したら、近くの病院、クリニックに通院しながら、数ヶ月おきに当院も受診して頂き腎疾患の治療をサポートさせて頂きます。腎移植に関しては、長く在籍していた福岡大学病院や他の病院との連携も可能です。腎臓内科外来は月、水、金曜日の午前、血液透析は月、水、金曜日のサイクルを基本としています。尿異常、電解質異常、腎機能の変化、透析関連の合併症などございましたら、まずは気軽にご相談ください。

私が生まれ育った筑紫地区および福岡大学には強い愛着があり、縁があって筑紫病院に着任しました。今後は、地域に密着しながら腎疾患全般の診療に貢献し、基幹病院として院内外で信頼される腎センターとなるよう、全力で努力してまいります。また、大学の使命である研究や若手医師と学生の教育にも力を入れていきます。未熟ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

外来担当表

月	火	水	木	金
安野		安野		安野